

## 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会 開催報告

大会長 田中 宏  
実行委員長 城處 洋輔

第35回埼玉県診療放射線技師学術大会は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、完全オンライン形式に変更して2022年3月20日（日）に開催された。

大会テーマは、『診療放射線技師をUpdateしよう！』とし、2021年度より厚生労働大臣が指定する研修（告示研修）が始まり、これからの診療放射線技師の在り方を考える大会となるよう思いを込めた。一般演題には32演題と多くの登録があり、発表していただいた演者の先生方には感謝申し上げます。特別講演1では、福島県立医科大学保健科学部准教授の五月女康作先生に「ラジエーションハウス誕生から映画化まで」についてご講演いただき、さらに関係者を含めて制作における裏話を含めたディスカッションがなされた。特別講演2では、元読売ジャイアンツ・現野球解説者の榎原寛己先生に「プロ野球での経験談と医用従事者への思い」についてご講演いただいた。大会講演は日本診療放射線技師会副会長の江藤芳浩先生に「診療放射線技師法改正と業務拡大への展望」についてご講演いただいた。その他、フレッシュャーズセミナーの「標準撮影から一歩先へ ～追加撮影を理解しよう～」[輝度調整だけで大丈夫？臨床に適した画像処理選択の基本]「標準撮影法2における撮影と透視観察の標準化」、ランチョンセミナーの「タスク・シフト/シェアにおける診療放射線技師による静脈路確保の実際」、学術委員会企画の「臓器別に考える ～脳卒中～」、動画配信として経済産業省資源エネルギー庁による「福島の「いま」」を企画した。

参加申し込み者数は224人で、県内が219人、県外は5人であった。

大会運営については若干の通信トラブルはあったが、大きな問題もなく開催できたことは実行委員をはじめ、講師・座長・演者の先生方の事前の準備から当日の発表に至るまでご協力頂いたことによる成果であり、この場をお借りして感謝申し上げます。

次回の第36回埼玉県診療放射線技師学術大会は2023年3月5日（日）、大宮ソニックシティで開催を予定している。新型コロナウイルスの感染状況で開催形式は変更する可能性があるが、会場にて皆さまとお会いできるのを楽しみにしているのでぜひご参加いただきたい。

### 【最優秀演題賞】

演題番号26：埼玉県済生会川口総合病院 中里 奨  
18F-FDG PET/CTにおける機械学習を用いた至適Gaussian filterの検討

### 【優秀演題賞】

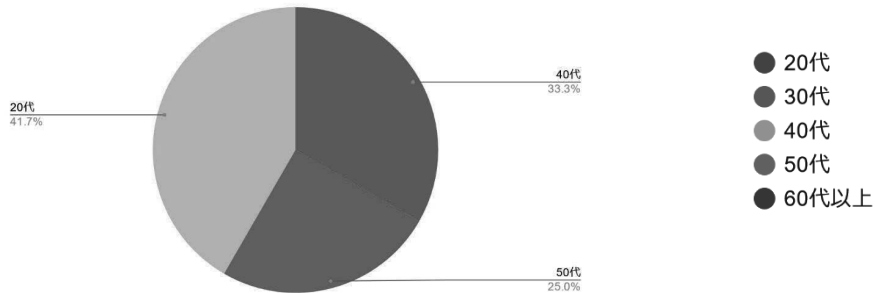
演題番号8：埼玉医科大学病院 西山 翔  
AIポジショニング判断支援機能と一般撮影マネジメントシステムの連携による再撮影基準の検討

演題番号11：上尾中央総合病院 田中 朋美  
歯科用CBCT装置における撮影モードの違いによる画質変化の検討

【アンケート結果】

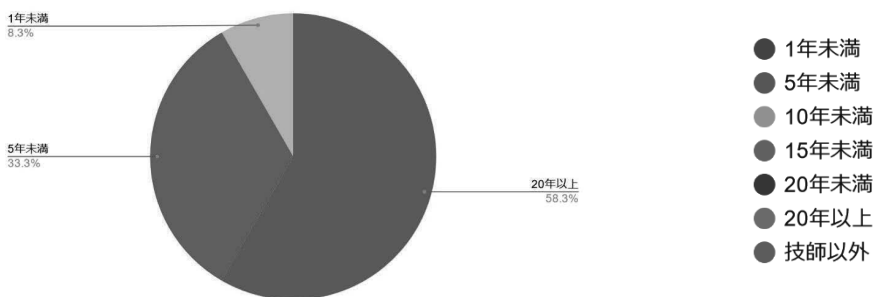
年齢をお答えください。

12件の回答



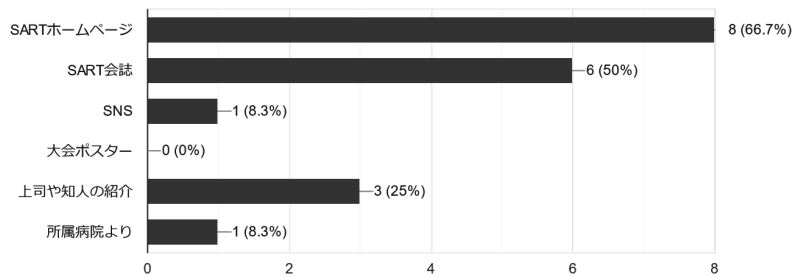
技師歴をお答えください。

12件の回答



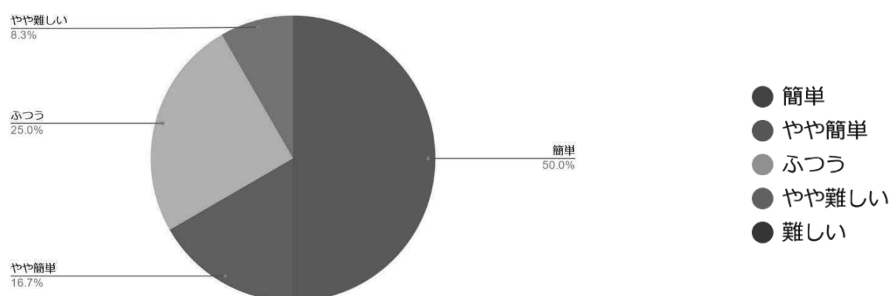
学術大会の開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）

12件の回答



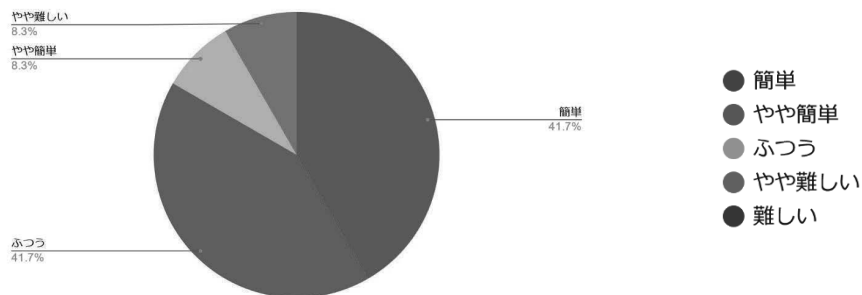
学術大会の申込みはスムーズでしたか？

12件の回答



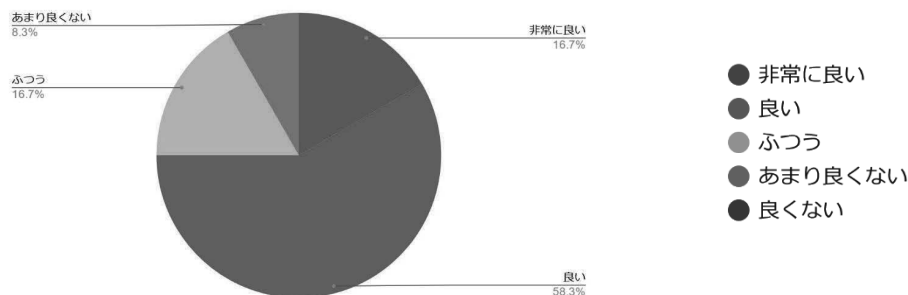
Zoomミーティングルームへの入室はスムーズでしたか？

12件の回答



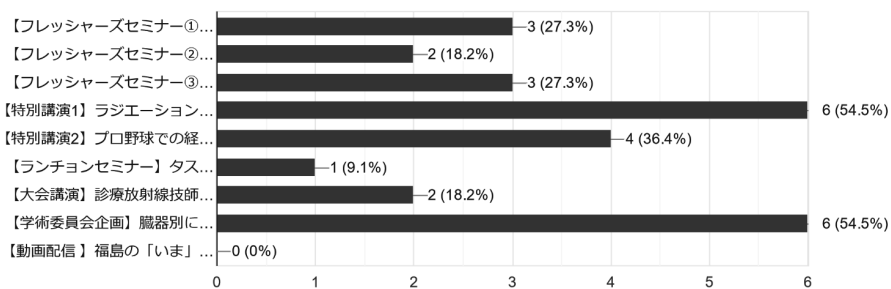
Zoomを利用した学術大会に参加した感想をお聞かせください。

12件の回答



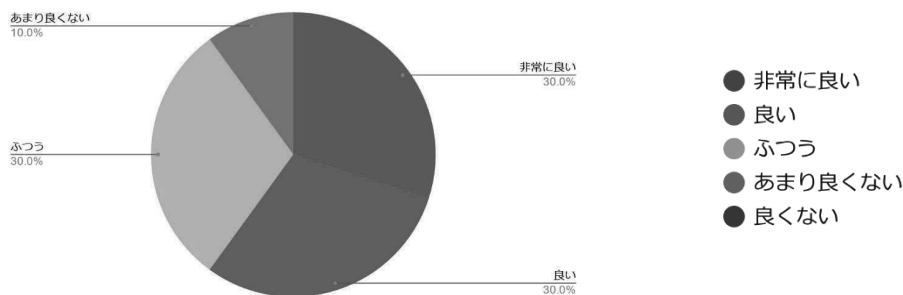
今回の学術大会で良かった企画について、お答えください。（複数回答可）

11件の回答



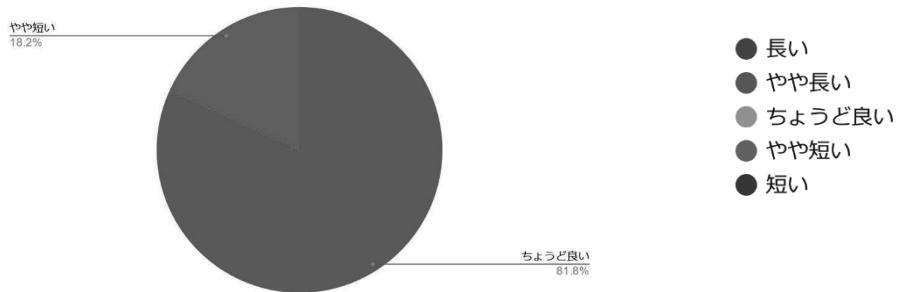
学術大会後のオンデマンド配信について、感想をお聞かせください。

10件の回答



学術大会後のオンデマンド配信について、配信期間はいかがですか？

11件の回答



学術大会に参加した感想およびご意見など、ご入力ください。

2件の回答

再ログインせずに会場移動が可能にしてほしい

講演、発表の間のタイムラグがもったいない様な気がした。

今後、聞いてみたい企画や内容など、要望がありましたら、ご入力ください。

0件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

## 2022年度フレッシューズセミナー開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
総務 常務理事 今出 克利

今年度は、会場集客型による開催を準備していましたが、なかなか感染状況が収まらないため、やむを得ずZoomウェビナーを利用したオンライン開催となりました。オンライン開催に変更したことで、全国各地からの参加がありました。埼玉県内の参加は65人、他の都道府県は21人で、北は北海道、南は鹿児島県から参加があり、合計86人の方にご参加いただきました。

セミナー終了後に行ったアンケート調査においても、「これから診療放射線技師として働く上で役に立つものが多く、とても良い機会でした」、「本日教えていただいた内容を明日からの業務に活用していきたいと思います」など、多くの受講生から感謝の言葉が寄せられていました。

最後になりますが、講師の皆さまには日々の臨床業務が大変な状況であるにもかかわらず、講義資料の作成や講義をしていただきまして、ありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

埼玉県で開催したプログラムは以下の通りです。

セミナー名：2022年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー

開催日時：2022年5月15日（日）

開催方式：オンライン配信

8：30～ 8：35	開講式・オリエンテーション	
8：35～ 8：45	会長あいさつ	田中 宏（埼玉県診療放射線技師会会長）
8：45～ 9：15	患者さんに優しい診療放射線技師	大河原侑司（さいたま赤十字病院）
9：20～ 9：50	社会人としてのエチケット・マナー講座	
		中根 淳（埼玉医科大学総合医療センター）
9：50～10：20	被ばく低減	宮崎 千晶（埼玉医科大学国際医療センター）
10：30～11：30	医療安全講座	金野 元樹（上尾中央総合病院）
11：40～12：40	感染対策講座	茂木 雅和（上尾中央総合病院）
13：30～14：20	検査手技と読影（一般撮影）	高橋 忍（埼玉医科大学病院）
	検査手技と読影（消化管撮影）	浅見 純一（行田中央総合病院）
14：30～15：20	検査手技と読影（CT・肺）	荻野 奈規（済生会川口総合病院）
	検査手技と読影（MRI）	關杉 泰亮（埼玉医科大学病院）
15：30～16：30	気管支解剖講座	富田 博信（済生会川口総合病院）
16：30～	閉講式・入会案内	

本セミナーを受講した感想およびご意見など、ご入力ください。

- ・もっと若いうちに気管支覚えるべきでした、、、
- ・明日から活かせる知識が得られてよかった。
- ・とても分かりやすく、ためになる講義ありがとうございました。
- ・全ての分野において、より詳しいお話を聞けて有意義な時間でした。
- ・これから診療放射線技師として働く上で役に立つものが多く、とても良い機会でした。
- ・働く上での基本を学ぶことができ、非常に勉強になった。
- ・現時点ではまだ分からない話もあったが今後役立つと思われる話が多く非常にためになった。
- ・気管支の解剖や、CTの画像解剖がとてもわかりやすく、これから検査の際どのように画像を見ていくかを理解できたと思います。
- ・とても有益な講義、ありがとうございました。今後の業務に役立つ内容であり、セミナー後にPDFをもらえるのもありがたかったです。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日教えていただいた内容を明日からの業務に活用していきたいと思います。
- ・改めて患者さんに対する接遇など、意識しなければならないことを考えることができました。
- ・業務についてだけでなく、社会人としてのマナーなどの話を聞くことができ勉強になりました。今後の業務に活かしていきたいです。
- ・このたびは素晴らしいご講義ありがとうございました。  
また、他県所属からの参加でしたが、お受けいただきありがとうございました。
- ・より一層日々、画像を眺めるだけでなく、さまざまところに目をつけて勤務しようと思いました。
- ・このたびはありがとうございました。これから働く上で気をつけるべきこと、すべきことなどについて学ぶことができた。検査手技と読影については、まだ理解ができなかったところがあるので、これから働く中で理解を深めていきたいと思った。
- ・技師として必要な知識を学ぶことができたので、参加してよかったです。
- ・勉強になりました。自分の実力が分かり、有意義な時間を過ごせた。
- ・これからの仕事に生かし、今後も学び続けていきたいと感じた。
- ・自分のためになる講義ばかりで参加してよかったです。

## ご寄付お礼

ありがとうございました。

叙勲受章者の橋本 里見さまより埼玉県診療放射線技師会へ11万円の寄付を  
いただきました。

厚くお礼を申し上げます。